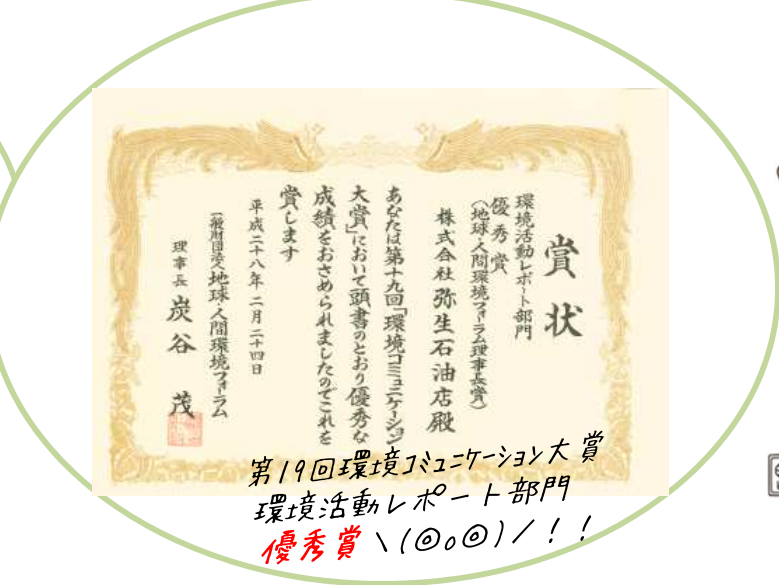


第18回環境コミュニケーション大賞
環境活動レポート部門 優良賞!!



第19回環境コミュニケーション大賞
環境活動レポート部門
優秀賞 \ (o_o) / !!

エコアクション21 環境活動レポート2019

2018年12月
～
2019年11月

作成日
2020年2月4日
改定日
2020年11月10日

株式会社弥生石油店





基本理念

株式会社弥生石油店は、
「環境に配慮しない自己中心的な企業活動に繁栄はない」
との認識に立ち、石油製品販売を中心とした企業活動を行う
に於いて地球環境保全に努め、持続可能な発展を目指します。

環境方針

1. 次の事項についての環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

- ① 二酸化炭素排出量の削減（地球温暖化防止）
⇒ 電力・自動車燃料の使用の削減
- ② 廃棄物の削減及び再資源化の推進（継続的環境改善）
⇒ 紙の使用量の削減・産業廃棄物の削減
- ③ 排水量の削減（水資源の保全）
⇒ 一般水道水の削減
- ④ 社会貢献
⇒ 環境に配慮した商品の販売促進

2. 化学物質取扱量の把握

3. グリーン購入の推進

4. 環境関連法規や当社がお約束したことを遵守します。

5. 環境への取組みを環境活動レポートとして、とりまとめ公表します。

6. 環境意識を高めるため、教育の充実にも力を入れます。

制定日

2008年12月 5日

最終改定日

2011年 2月 7日

株式会社 弥生石油店
代表取締役社長 中川 貴之

組織の概要

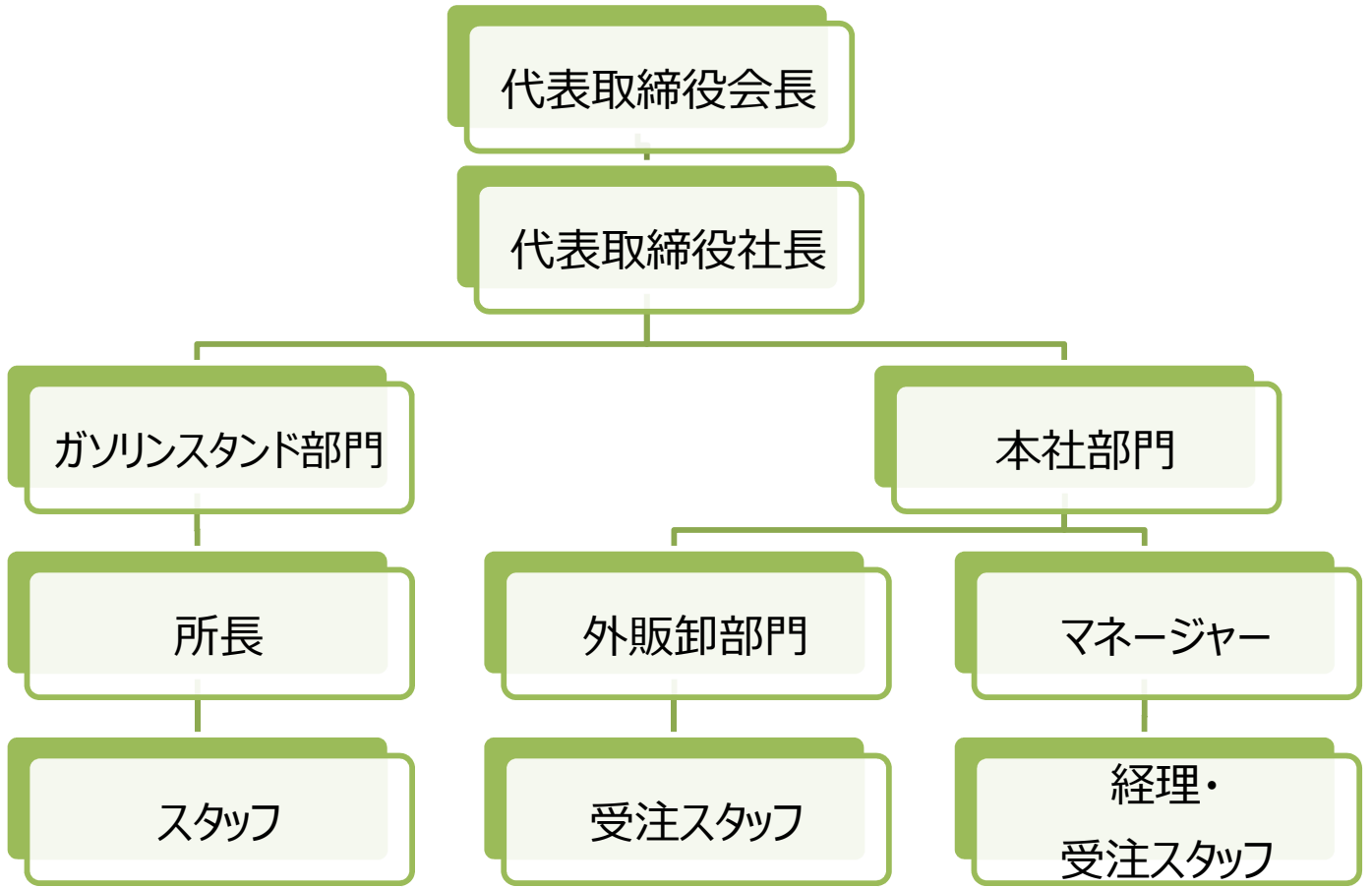
事業者名	株式会社弥生石油店		
代表者名	代表取締役社長 中川貴之		
所在地	本社	大阪市北区西天満 2-8-1 大江ビル内	
	弥生ひらかたSS	枚方市西禁野 2-4-10	
環境管理責任者	川原奈美子		
連絡先	TEL 06-6364-3456 FAX 06-6364-7467		
事業内容	石油製品卸売業・小売業、毒物劇物一般販売業、バッテリーの卸売業 古物商、自賠責保険、ガソリンカードの発券		
事業規模	資本金	1000万円	
	売上高	2016年	7.26億円
		2017年	8.47億円
		2018年	8.84億円
		2019年	8.8億円
	従業員数	15名	
	床面積	本社	61.84㎡
		ひらかたSS	454.52㎡

沿革：		主な出来事 あの時こんなことがありました* [※]
1934年4月5日	(株)弥生石油店を資本金10万円で設立。 三菱石油(株)(現JX日鉱日石エネルギー(株))の特約店となり主として大阪府下一円に同社の全製品の販売並びに付帯業務一式行う	* 石油業法公布 (業者の貯油が義務付け) * 法隆寺昭和の大修理着手
		
1949年5月	枚方に第1号直営給油所を完成、営業を開始	* GHQ 1ドル360円の単一為替ルートの設定 * 自動車の生産販売制限全面解除に関する覚書を発表
1998年9月	出光興産(株)の特約店になる	* 第18回冬季オリンピック長野大会開催 * 洋画ランキング1位『タイタニック』
		
2003年10月	毒物劇物一般販売業 (大阪市) に登録	* 郵政事業庁が日本郵政公社に * 「世界に一つだけの花」(SMAP) 大ヒット
2009年8月	古物商資格取得 中古車販売開始	* 『ハドソン川の奇跡』 ニューヨークのハドソン川にUSエアバス 旅客機が不時着乗客・乗員計155人全員救出
2009年9月	環境規格『エコアクション21』 本社部門 認証・登録	* マイケル・ジャクソン死去
		
2010年9月	『エコアクション21』の登録範囲をSS含め 全社へ拡大	* 小惑星探査機『はやぶさ』が地球に帰還 * 「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」がベストセラーに
2011年3月	経営革新計画承認企業となる	* 東日本大震災発生 * 小笠原諸島がユネスコ世界自然遺産に登録
		
2013年4月5日	80周年を迎える	* 富士山が世界文化遺産に登録 * 「安さ」「味の良さ」「利便性」を主な要因とし『コンビニコーヒー』が大ヒット
		
2015年2月	『第18回 環境コミュニケーション大賞』 環境レポート部門 優良賞受賞	* 10月5日・6日と2日連続の栄誉！ ノーベル生理学・医学賞 ノーベル物理学賞！
2016年2月	『第19回 環境コミュニケーション大賞』 環境レポート部門 優秀賞受賞!!	* マイナンバー制度開始 * 英国の歌手 デビッド・ボウイ死去 * 115年ぶりに鹿児島・奄美大島で降雪を観測！ * SMAP解散
2017年2月	『第20回 環境コミュニケーション大賞』 環境レポート部門 優良賞受賞	* アメリカの大統領にドナルド・トランプ氏が就任
2018年11月		* 2025年万博、大阪・関西での開催が決定

組織図と実施体系



組織図と実施体系



環境管理責任者・担当者		役割・責任・権限
代表取締役会長 川原静恵		<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の策定 E A 2 1の実行に必要な資源（人・設備・費用）を用意 環境管理責任者の見直し E A 2 1の全体的な取組状況を評価し、見直し、必要な指示を行う
代表取締役社長 中川貴之		
本社	ひらかたSS	役割・責任・権限
代表取締役社長 中川貴之		<ul style="list-style-type: none"> E A 2 1の実行に必要な資源（人・設備・費用）を用意 環境方針を全員へ周知 環境法規の見直し
環境管理責任者 川原奈美子	所長 梶原達也	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムを構築・維持 環境経営システムを構築・運用状態を社長に報告 環境活動レポートを取りまとめる 環境管理ミーティングを開催する 環境法規の取りまとめ
	担当者 木原弘幸	<ul style="list-style-type: none"> 環境負荷に対する必要なデータを集計し、全従業員に啓蒙する（電気メータ・ガソリン・紙使用量・廃棄物の集計）
	担当者 木原弘幸	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ商品等の販売量の管理 昼間の必要な照明等の停止・業務終了時の主電源OFFの管理 エアコンのフィルターの定期的な清掃 冷蔵庫内の冷凍庫の霜とり
全従業員		<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動への参加



これまでの環境経営計画

環境活動計画

環境目標項目		単位	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
1. 二酸化炭素排出量の削減		kg-CO ₂	20,330	19,624	17,189	16,005	17,322
1.1購入電力	合計①+②	kWh	24,690	22,250	19,645	20,605	21,468
	① 本社	kWh	4,615	5,002	5,076	5,174	5,131
	① SS	kWh	20,075	17,248	14,569	15,431	16,337
1-2ガソリン	合計①+②	L	4,865	4,944	4,307	3,645	4,077
	① 本社	L	4,749	4,830	4,182	3,491	3,902
	① SS	L	116	114	125	154	175
2. 廃棄物の削減		kg	212	198	195	212	185
2-1. 本社		kg	158	148	143	146	117
2-2 SS		kg	54	50	52	66	68
3. 水使用量の削減 (SSが対象)		m ³	489	463	519	540	645
4. 環境配慮型商品の販売 (この項は、達成度 = 実績/目標)	合計①+②	L	27,960	35,856	31,579	190,405	129,623
	① 本社	L	27,000	35,000	30,618	119,472	128,640
	① SS	L	960	856	961	933	983
	合計①+②					312	294
	① 本社					なし	なし
	① SS					312	294

備考1) 二酸化炭素排出係数は、本社 0.366kg-CO₂/kWh (関西電力) を使用している。
 備考2) 灯油、軽油は使用していない。
 備考3) 産業廃棄物は、環境目標を設けず、データの集計のみとする。

CO₂排出量の削減 二酸化炭素排出量は2010年度に21,406kg-CO₂でしたが、2017年度には16,005kg-CO₂で 25%も削減できています。

電力使用量の削減 電力において、上記と同様な比較で32%も削減できています。室温計、エアコン稼働表の設置、クールビズ運動、電灯のLED化などを進めてきました。

ガソリン使用量の削減 ガソリンは、2012年度対比で、32%も削減できました。

廃棄物の削減 廃棄物排出量は、お客様からのゴミはコントロールはできず、2016年度から廃棄物削減努力から外すことにしました。

水使用量の削減 水使用量は、2009年度の1,355m³が2017年度には60%の削減ができました。本社はテナントビル一室を借用のため水使用量については把握出来ないのでSSのみを対象としています。

環境配慮型商品の販売 環境配慮型商品の販売は、2009年度の1,780Lから、2016年度の190,405Lまで106倍になっています。

グリーン購入 グリーン購入は、事務用品を中心に推進しています。

電力・電灯使用量の削減

環境目標

(本 社) 電力使用量が増えた2015年度～2018年度の年平均値を基準に算出する。

取組内容

(ひらかたSS) 電力使用量が増えた2017年度と2018年度の年平均値を基準に算出する。

【良く出来ていた○ ぼちぼち出来ていた△ もっとがんばる×】	本社	SS
目標達成 (達成率) 達成率 = 目標 ÷ 実績	○ 121%	○ 104%
冷暖房の温度設定 (エアコン使用時に室温) 6～9月28℃程度 12～3月20℃程度	○	○
パソコン・OA機器を省エネモードに設定	○	○
エアコン内のフィルター清掃	○	○
冷蔵庫の霜取り	○	○
不必要な照明・電気機器等は停止 (毎昼休憩時)	○	○
業務終了後の主電源は必ず切る (FAX以外)	○	○
クールビズ・ウォームビズ運動の推進	○	○
LED照明の導入	○	○
PC・プリンター等、買い替え時は省電力等の環境配慮モデルを検討	○	○

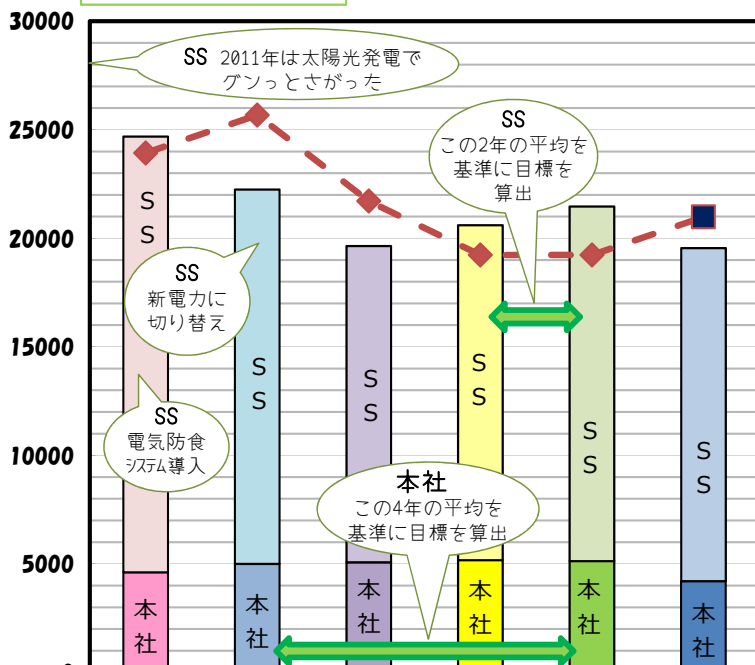
それぞれの取組

昨年度に比べ本社は営業時間外の来客・ミーティングが増えましたが、電気・電力の使用を削減がすることが出来ました。SSではサービースルーム内で洗車等の作業をお待ちいただくお客様にも節電のご協力をお願いしていることと、コマ目な温度調整のおかげで電気・電力の使用を削減することが出来ました。



電力 年度別

電力削減...



電気 (kWh)	14年	15年	16年	17年	18年	19年
目標	23,930	25,679	21,717	19,235	19,235	20,985
SS実績	20,075	17,248	14,569	15,431	16,637	15,345
本社実績	4,615	5,002	5,076	5,174	5,131	4,206
合計実績	24,690	22,250	19,645	20,605	21,468	19,551
目標達成率	97%	115%	111%	93%	90%	107%

ガソリン使用量の削減

環境目標
 (本 社) 2017年と2018年の年平均値を基準に算出する。

(ひらかたSS)使用量が増えた2017年と2018年の年平均を基準に算出する。



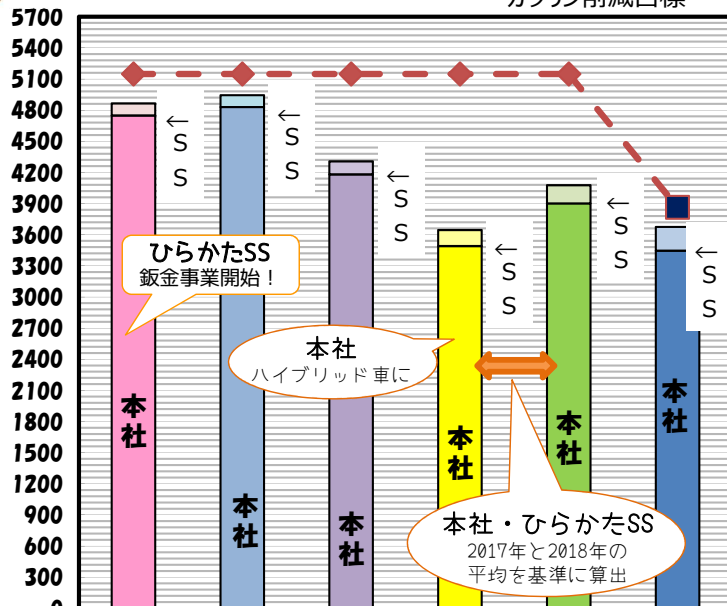
取組内容


【良く出来ていた○ ぼちぼち出来ていた△ もっとがんばる×】	本社	SS
目標達成 (達成率) 達成率 = 目標 ÷ 実績	○ 107%	× 72%
ハイブリッド車などの購入、置き換え	○	-
アイドリングストップ	○	○
急発進・急停車の禁止	○	○
車内の冷暖房の控え目使用	○	○
公共交通機関利用の促進	○	×



ガソリン 年度別

◆ ガソリン削減目標



ガソリン (L)	14年	15年	16年	17年	18年	19年
目標	5,149	5,149	5,149	5,149	5,149	3,862
SS実績	116	114	125	154	175	229
本社実績	4,749	4,830	4,182	3,491	3,902	3,446
合計実績	4,865	4,944	4,307	3,645	4,077	3,675
目標達成率	106%	104%	120%	141%	126%	105%

本社は営業等が増え社用車の使用が増えた時期がありましたが、公共交通機関の使用を心掛けたことでガソリン使用量を減少できました。

SSでは車検や中古車販売による打ち合わせ等が増えたことでガソリンの使用量が増加しました。



取組評価


温室効果ガス(二酸化炭素)の削減

環境目標

(本 社) (ひらかたSS)
 電気、ガソリンを加えたものとする。

取組評価

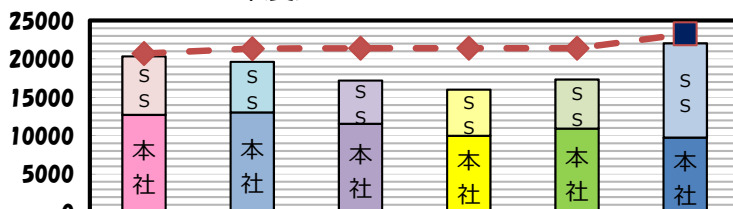
温室効果ガスの削減

については、本社の電力とガソリン削減によるものです。



CO2年度別

◆ 温室効果ガス削減目標



CO ₂ (kg-CO ₂)	14年	15年	16年	17年	18年	19年
目標	20,719	21,354	21,400	21,400	21,400	23,253
SS実績	7,616	6,579	5,622	6,006	12,904 [6,385]	12,271
本社実績	12,714	13,045	11,566	9,999	11,206 [10,937]	9,759
合計実績	20,330	19,623	17,189	16,005	24,110 [17,322]	22,030
目標達成率	102%	109%	124%	134%	124%	106%

2019年度より 二酸化炭素排出係数は以下を使用しています。
 本社 0.418kg-CO₂/kWh (関西電力)
 SS 0.765kg-CO₂/kWh (イーレックス・スパーク・マーケティング(株))

比較のため、右表 2018年度SS実績・本社実績・合計実績の数字は上段を新しい二酸化炭素排出係数で、カッコ内下段は以前の二酸化炭素排出係数を表示しています。
 右表グラフの2018年度は以前の二酸化炭素排出係数を表示しています。

それぞれの取組



廃棄物の削減



環境目標

(本 社) 過去5カ年平均を基準に算出する。

取組内容

(ひらかたSS)一般廃棄物：紙 過去4カ年平均を基準に算出する。
 (一般廃棄物：紙以外 (お客様のゴミ) と産業廃棄物についてはデータ収集のみ行う)

そ
れ
ぞ
れ
の
取
組

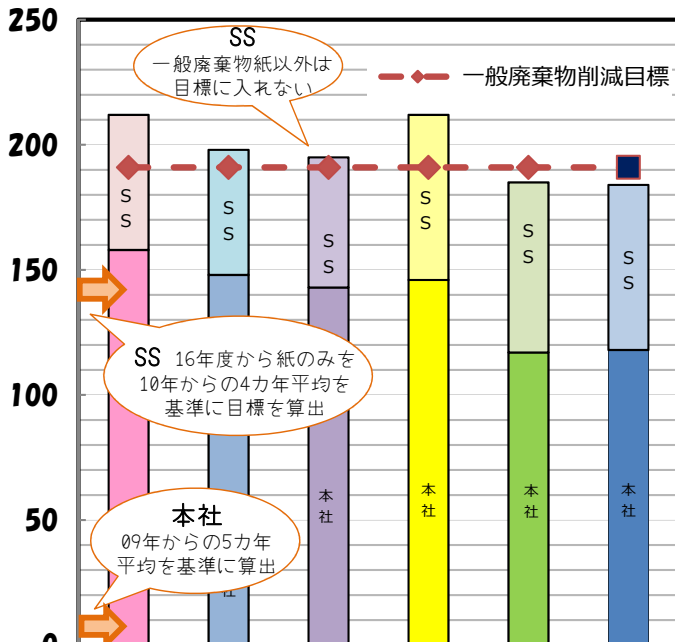
本社では本年度、潤滑油の講習会を1回行いました。告知チラシ・講習会資料等の作成により紙の使用量が多くなりましたが年間を通して昨年度と同じくらいの使用量に抑えることが出来ました。

SSではお客様に配るご案内を小さめサイズに工夫するなどして紙使用量の削減が出来ました。



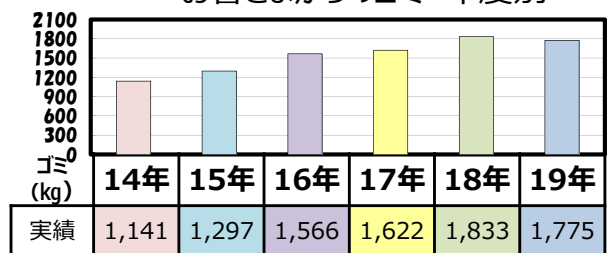
【良く出来ていた○ ぼちぼち出来ていた△ もっとがんばる×】	本社	SS
目標達成 (達成率) 達成率 = 目標 ÷ 実績	○ 100%	○ 111%
ミスコピー防止	○	○
裏紙再利用の徹底	○	○
社内書類の電子化	○	○
社内 (本社-SS間) サイボウズ利用	○	○
ガソリンカードの顧客への価格の設定方法を簡略化し案内状の郵送を極力控える	○	○
不要になった書類・封筒は紙リサイクル	○	○
マイカップ・マイ箸運動の推進	○	○
ハンドソープ等の詰め替え用品の購入	○	○
社内での勉強会等にはプロジェクターを使用し無駄な印刷物を減らすよう努める	○	○
廃油の分別回収に努める	-	○
産業廃棄物の分別回収に努める→オイルエレメントは分別・ガス缶は穴を開けて廃棄	-	○
お客さまからのゴミは分別回収に努める	-	○

一般廃棄物 年度別



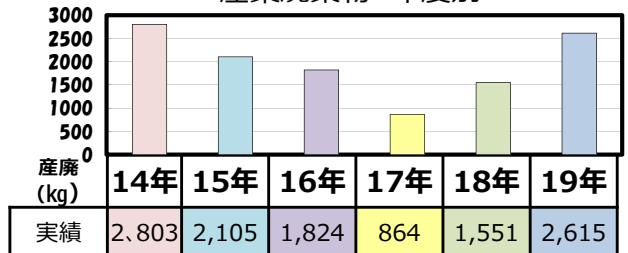
一般廃棄物 (kg)	14年	15年	16年	17年	18年	19年
目標	191	191	191	191	191	191
SS実績	54	50	52	66	68	66
本社実績	158	148	143	146	117	118
合計実績	212	198	195	212	185	184
目標達成率	90%	96%	98%	90%	103%	104%

お客さまからのゴミ 年度別



実績	14年	15年	16年	17年	18年	19年
実績	1,141	1,297	1,566	1,622	1,833	1,775

産業廃棄物 年度別



産業廃棄物 (kg)	14年	15年	16年	17年	18年	19年
実績	2,803	2,105	1,824	864	1,551	2,615



水使用量の削減

※本社はテナントビル一室を借用のため水使用量を把握することが出来ないが、水道使用時は節水を心掛けている。

環境目標



(ひらかたSS) 洗車台数が増加した2017年と2018年の年平均を基準に算出する。

取組内容

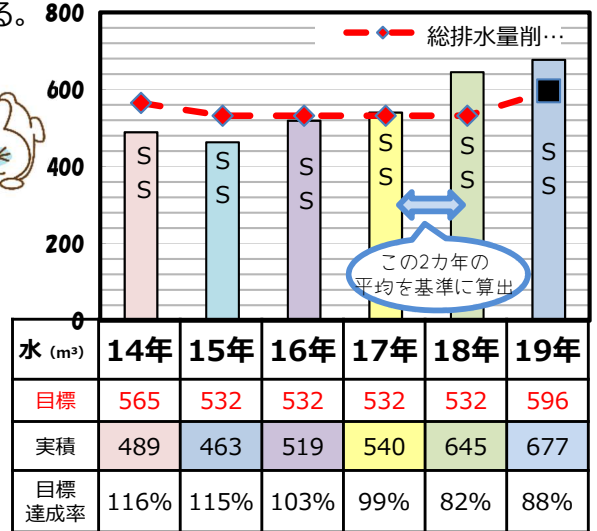


【良く出来ていた○ ぼちぼち出来ていた△ もっとがんばる×】	本社	SS
目標達成 (達成率) 達成率 = 目標 ÷ 実績	—	× 88%
節水に努める	○	△
節水ポスターの掲示	○	○
洗車機の効率運転による節水	—	○
社内清掃時は水使用を最小限に抑える	—	○
家庭においても節水を心掛ける	○	○

good!



水使用量年度別



取組評価



目標を達成することができませんでした。

洗車作業以外では水の使用量は

必要最低限とし節水を心掛けました。



環境配慮型商品の販売

環境目標



(本社) 2017年度(前年)実績対比1%増販とする

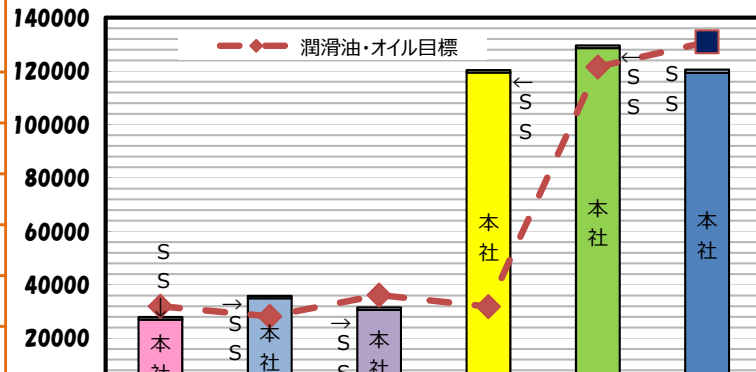
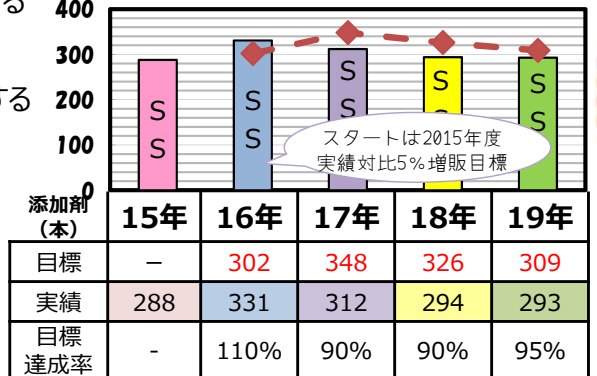
(ひらかたSS) 環境配慮型オイル
2018年度(前年)実績対比1%増販とする
環境配慮型添加剤
2018年度実績(294本)対比5%増販
(309本)とする

取組内容



【良く出来ていた○ ぼちぼち出来ていた△ もっとがんばる×】	本社	SS オイル	SS 添加剤
目標達成 (達成率) 達成率 = 実績 ÷ 目標	× 92%	○ 121%	× 95%
更油時の油種変更の提案	○	○	—
オイル交換時の油種変更の提案	○	○	—
点検時の環境配慮型添加剤の提案	—	—	△
エコドライブに関するチラシの作成・掲示	—	○	—
省エネポスターをスタンドに掲示	—	○	—
環境配慮型商品の案内・提案の実施	—	○	—

添加剤 目標



取組評価



本社 環境配慮型商品の販売量は目標を達成できませんでした。

ひらかたSS 環境配慮型オイルの販売量が前年より増えたが環境配慮型添加剤は目標を達成することができませんでした。

そ

れ
れ
の
取
組





取組内容



【良く出来ていた○ ぼちぼち出来ていた△ もっとがんばる×】	本社	SS
グリーン購入・グリーン調達の推進	○	○
エコマーク商品の積極的な購入	○	○
マット・埃取りはダスキンのリサイクル品を使用	○	○
購入品はなるべくリサイクルしやすいものを選ぶ	○	○



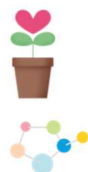
取組評価



対象商品であるリサイクルペーパーや
リサイクルトナー等を積極的に購入し
購入量の把握に努めた。



そ
れ
ぞ
れ
の
取
組



化学物質取扱量の把握（全体）



取組内容



【良く出来ていた○ ぼちぼち出来ていた△ もっとがんばる×】	本社	SS
化学物質取扱量の把握	○	○
トルエン等は伝票処理を行い帳簿上で管理	○	-
SSでのガソリン等は漏えい防止等取扱上の管理	-	○

取組評価



管理に注意を払い、把握することができた。



Environmental Activities 2019

環境目標項目		単位	1年間の実績	1年間の目標	達成度 (目標/実績)	評価
1. 二酸化炭素排出量の削減		kg-CO ₂	22,030	23,253	105%	○
1.1購入電力	合計：①+②	kWh	19,551	20,985	107%	○
	① 本社	kWh	4,206	5,098	121%	○
	② SS	kWh	15,345	15,887	104%	○
1-2ガソリン	合計：①+②	L	3,675	3,862	105%	○
	① 本社	L	3,446	3,697	107%	○
	② SS	L	229	165	72%	×
2.廃棄物の削減		kg	184	191	104%	○
	① 本社	kg	118	118	100%	○
	② SS	kg	66	73	111%	○
3. 水使用量の削減 (SSが対象)		m ³	677	596	88%	×
4. 環境配慮型商品の販売 (この項は、達成度=実績/目標)	1) 潤滑油	L	120,562	130,919	92%	×
	① 本社		119,360	129,926	92%	×
	② SS		1,202	993	121%	○
	1) 添加材	本	293	309	95%	×
	① 本社		なし	なし	—	—
	② SS		293	309	95%	×

備考1) 評価は、達成：○、不達成：×

CO₂排出量の削減

二酸化炭素排出量は、目標を達成しました。電力・ガソリン共に目標を達成できました。

廃棄物の削減

廃棄物は、目標を達成しました。ひらかたSSではお客様にもゴミの分別に協力していただいています。

水使用量の削減

水使用量は、節水洗車を心がけましたが、不達成でした。

環境配慮型商品の販売

環境配慮型商品 潤滑油では、本社は目標を達成することができませんでしたが、SSでは達成することができました。添加剤については目標を達成することができませんでした。





取

組
結
果





代表者見直し

環境経営方針	特に変更なし		
環境目標の評価	二酸化炭素排出量	達成率が105%	
	水使用量	達成率が88%	
	廃棄物	達成率が104.3%	
	環境配慮型商品	オイル 達成率が95%	 添加剤 達成率が94%
環境目標の今後の方向性	【全体の項目】	2013年度より各項目の削減限界が見えてきたため過去のデータ推移を踏まえ、ある期間の平均値を目標設定にすることとしておりましたが、昨年目標達成が困難であるため目標値を変更しました。しかし本年度目標を達成出来なかった活動があるため、目標値を次年度も変更します。	
	【環境配慮型商品】 目標の変更なし	環境配慮型オイルの販売について、本社は目標を未達成。SSは目標を達成出来ました。次年度も前年対比1%増販を設定する。 SS環境配慮型添加剤については、5%増販目標を達成することが出来ませんでした。次年度も前年対比5%増販を設定する。	
	【電力】 目標の変更なし	本社・ひらかたSSともに電力使用量が目標を達成していますので、目標値の変更はありません。本社は増加した2015年～2018年の4カ年の平均を、SSは増加した2017年～2018年の2カ年の平均を基準とします。	
	【ガソリン】 目標の変更あり	ガソリンについては、本社は目標を達成出来ましたので目標値の変更なし。2017年・2018年の2カ年平均。SSは目標を未達成のため、使用量が増加した2017年～2019年の3カ年平均を基準とする。	
	【廃棄物】	廃棄物については、本社・SSともに目標を達成できました。次年度も本社は過去5カ年平均を、SSは過去4カ年の平均を基準とする。	
	【水使用量】 目標の変更あり	水使用量については、目標未達成のため、洗車台数が増加した2017年～2019年の3カ年平均を基準とする。	
今後の目標	◇電力	本社	2021年度以降も過去4カ年平均の数値を維持する。
		SS	2021年度以降も過去2カ年平均の数値を維持する。
	◇ガソリン	本社	2021年度以降も過去2年平均を目標とする。
		SS	2021年度以降も過去3年平均を目標とする。
	◇廃棄物	本社	2021年度以降も過去5年平均を目標とする。
		SS	2021年度以降も紙のみを過去4年平均を目標とする。
	◇水使用量	SS	2021年度以降も過去3年平均を目標とする。
	◇環境配慮型商品	本社	2021年度以降も前年対比1%増販を目標とする。
		SSオイル	2021年度以降も前年対比1%増販を目標とする。
SS添加剤		2021年度以降も前年対比5%を目標とする。	

次年度以降の環境経営計画		単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂			23,301		
	電力	kWh			20,985		
	ガソリン	L			3,883		
廃棄物排出量の削減		kg			191		
水使用量の削減		m ³			620		
環境配慮型商品の販売	潤滑油 (毎年1%増加)	L	121,768	122,986	124,216	125,458	126,713
	添加剤 (毎年5%増加)	本	307	322	338	354	371

代表者見直し
次年度以降の環境活動計画

次年度以降の環境経営計画

電気	冷暖房の温度設定(エアコン使用時に室温)6～9月28℃程度 12～3月20℃程度	本社・SS
	パソコン・OA機器を省エネモードに設定	本社・SS
	エアコン内のフィルター清掃	本社・SS
	冷蔵庫の霜取り	本社・SS
	不必要な照明・電気機器等は停止(毎昼休憩時)	本社・SS
	業務終了後の主電源は必ず切る(FAX以外)	本社・SS
	クールビズ・ウォームビズ運動の推進	本社・SS
	LED照明の導入	本社・SS
	PC・プリンター等、買い替え時は省電力等の環境配慮モデルを検討	本社・SS

ガソリン	ハイブリッド車などの購入、置き換え	本社
	アイドリングストップ・急発進・急停車の禁止	本社・SS
	車内の冷暖房の控え目使用	本社・SS
	公共交通機関利用の促進	本社・SS

廃棄物	ミスコピー防止	本社・SS
	裏紙再利用の徹底	本社・SS
	社内書類の電子化	本社・SS
	社内(本社-SS間)サイボウズ利用	本社・SS
	顧客への価格の設定方法を簡略化し案内状の郵送を極力控える	本社・SS
	不要になった書類・封筒は出来る限り紙リサイクル	本社・SS
	マイカップ・マイ箸運動の推進	本社・SS
	ハンドソープ等の詰め替え用品の購入	本社・SS
	社内での勉強会等にはプロジェクターを使用し無駄な印刷物を減らすよう努める	本社・SS
	廃油の分別回収に努める	SS
	産業廃棄物の分別回収に努める→オイルエレメントは分別・ガス缶は穴を開けて廃棄	SS
	お客さまからのゴミは分別回収に努める	SS

水	節水に努める(オフィス・セールスルーム内に文面を掲示)	SS
	ビル内共同の洗面及びトイレの節水を心掛ける	本社

環境配慮型商品	環境配慮型商品の販売	更油時の油種変更の提案	本社
		オイル交換時の油種変更の提案	SS
		点検時の環境配慮型添加剤の提案	SS
	環境情報の提供	エコドライブに関するチラシの作成・掲示	SS
		省エネポスターをスタンドに掲示	SS
		環境配慮型商品の案内・提案の実施	本社・SS

グリーン購入	グリーン購入の推進	本社・SS
	エコマーク商品の積極的な購入(リサイクルペーパー・詰め替え用文房具・リサイクルトナー等)	本社・SS
	マット・埃取りはダスキンのリサイクル品を使用	本社・SS
	購入品はなるべくリサイクルしやすいものを選ぶ	本社・SS
	グリーン調達への推進	本社・SS

化学物質	化学物質取扱量の把握	本社・SS
	トルエン等は伝票処理を行い帳簿上で管理	本社
	SSでのガソリン等は漏えい防止等取扱上の管理	SS

次

年度以降の環境経営計画





環境関連法規等について訴訟等はなく、周辺地域及び関係機関からの指摘、苦情もなかった。

当社の事業活動に当たって遵守しなければならない環境関連法規、条例及びその他の規制を受ける事項は以下の通りである。

環境関連法規の取りまとめ及び遵守状況のチェック表

適用となる主な環境関連法規等	遵守すべき事項	最新版確認	遵守評価
毒物及び劇物取締法	毒劇物の販売に際し、適切な登録と取扱	○	○
廃棄物処理法	廃棄物の適正な処理	○	○
家電リサイクル法	ユニット型エアコン・ブラウン管式テレビ・電気冷蔵庫・洗濯機の適切な廃棄処理	○	○
自動車リサイクル法	使用済み自動車の適正な廃棄・引き渡し	○	○
消防法	地下タンク漏洩検査、揮発油分析品質管理、火災の予防	○	○
土壌汚染対策法	地下タンク漏洩検査	○	○
水質汚濁防止法	地下タンク及び油水分離槽の適正管理、事故時の届出	○	○
下水道法	下水道の汚濁の防止、洗車機の特定施設の届出	○	○
大阪府生活環境の保全に関する条例	事業活動全般、設備の届出、適切な管理	○	○
資源有効利用促進法	パソコン等の適正な廃棄処理	○	○
フロン排出抑制法	業務用エアコンの適正な廃棄の処理、簡易点検の実施及び記録の保管	○	○
P R T R 法	指定化学物質の排出量・移動量の届出（該当の場合）	○	○

